

障がい者、外国人にコミュニケーション支援ボードを

問 障がい者にヘルプカードの共通化検討を。②聞くことが困難な方も使えるAED導入を。③外国人への情報の充実を。④災害時に誰もがわかる「やさしい日本語」の活用を。

答 ①現在SOSカードを作成、今後全般的に支援がわかる一部共通のカードを作成する。②情報提供を行う③対応方法を調査・検討する④先例市を参考に検討する。

石川和広

介護保険制度の改善に向けて

問 ①住宅改修の「受領委任払い」で利用者の「安心・安全」確保の観点から事業者の登録制度導入はできないか。②福祉用具購入においても「受領委任払い」の対応ができないか。

答 ①より安心してこの制度を活用してもらうため、事前登録等の実施に向け早急に検討を進める。②利用者への周知と販売店の理解が必要。実施に向け問題点を整理していく。

LED照明の導入促進について

問 新たな予算措置をするこ

ともなく電気料金の節減分や街路灯のメンテナンス費節減相当分でリース料金を賄う「リース方式によるLED照明導入」について市の考えは。

答 技術面やコスト面など導入のタイミングを見定める必要がある。エネルギー問題も踏まえ、さまざまな方式も含めて、今後検討したいと考えている。

亀井和美

生命を守る震災対策(その4)。地域防災計画の修正について

問 ①庁内ワーキンググループでの課題②市民意識調査の結果③図上訓練での課題④課題解消に向けての今後の取り組み⑤消防計画にある実施要領はいつ策定するのか。

答 ①各施策に対する対応の要否が不明瞭②地震に関する認識度が非常に高い③情報伝達に円滑さが欠ける④訓練を重ねていく⑤訓練の都度、重点目標に即した実施要領を策定。

福祉サービスの充実、カラーバリアフリー対策について

問 ①狛江市のHPや刊行物における色覚障がいの方への配慮は。②障害者認定基準に達しない難聴児に対する補聴器購入助成を。③老人性難聴者の補聴器購入に公費助成を。

答 ①色覚に障がいのある方に配慮した取り組みが必要であることは認識。②③ニーズも踏まえながら今後検討していきたい。



読書運動の推進、ブックサービスについて

問 ①小・中学校における読書運動について。②小学校と中学校の入学時、新1年生全員に本をプレゼントする「セカンドブックサービス」と「サードブックサービス」の考え方は。

答 ①朝読書や読み聞かせ、本の森学校図書館活用ノートを利用した取り組み等。②どのように位置づけるか考えることが必要。セカンドブックサービスは検討していきたい。

佐々木貴史

安全・安心なまちづくりについて

問 ①都市計画道路3・4・17号線開通に伴う市内交通環境の変化は。②市内の空き家に対する苦情件数と条例制定の考え方は。③災害用井戸のくみ上げ用の発電機の配備を。

答 ①検証作業は未実施。実施予定の交通量調査で実態を把握②直近の5年間で48件今後対応強化すべきとの状況になれば条例制定も必要③現実的に即した対応策を課題とする。

福祉政策について

問 ①高齢者虐待防止法施行後の市の取り組みは。②防止法では狛江市が取り組まなければならない事項があるが課題は。③高齢者の孤立化や引きこもりを防ぐ対策の取り組みは。

①高年齢者虐待防止法施行後の市の取り組みは。②防止法では狛江市が取り組まなければならない事項があるが課題は。③高齢者の孤立化や引きこもりを防ぐ対策の取り組みは。

答 ①マニュアルの作成、講演会等による普及・啓発。②マニュアル等を改訂し、混乱を来さない体制づくりに努める。③会食会の実施等、市民同士の交流や見守り活動等を支援。

市財政の現状について

問 ①今年度は国の特例公債法案の成立がおくれたことによる狛江市への影響は②財政調整基金は繰りかえ運用ができないが理由と他市の状況は③市の財政状況への率直な感想は。

答 ①おくれた影響はほとんどない②条例に規定がないためであり規定がないのは多摩地域で3市③貯金と借金のバランスの悪さ。借金体質で財政状況は硬直化していると感じる。

正木きよし

平成25年度予算編成について、市長の基本方針は

問 市長の所信表明と選挙公約についての整合性。狛江市の行政運営、水道局跡地利用、水道道路の安全対策、特別会計の健全化、子育て環境の充実等の取り組みについて。

答 所信表明と選挙公約は一貫した方針のもと進めていく。効率的・効果的な行財政運営を目指し、一つ一つ財源なども照らし合わせ十分精査し取り組んでいく。

多摩川河川敷に住居している「ホームレス対策」について

問 近隣住民が心配している問題について市の対応は。犬の問題、火災の対策、ごみの問題、騒音の問題、飲酒について。

答 関係機関と連携しホームレスの生活指導に努めていく。今後ホームレス対策を市長会等どのように取り扱えるか、研究し対処していく。



「音楽の街」狛江の会計の不明瞭、事業の中心について

問 特定の人は何回も謝礼を受け取っている。出演者謝礼についてアマチュアの人に払っている。(他の行事ではない)スタッフ、司会者も報償を受けている。金額も高額、その対策。

答 一部領収書の取り扱いについて指導した。今後一層会計の適正化に努める。

太田久美子

「魅力ある狛江のまちづくり」について

問 ①緑の都市賞の応募目標の一つであるが、市長の考えは②魅力あるまちづくり推進のために花いっぱい連盟への加入を③花づくりや緑の推進

に気軽に参加できる働きかけを。
答 ①緑の基本計画の施策実施の中で市民参加、協働による取り組みを十分引き出し、いけるよう研究。②前向きに検討。③アドプト制度等どのような方法ができるか検討。

狛江の学校教育の質の向上について

問 ①学力調査などを生かし、教育の質を上げるべき②知育や幼児教育の今後のあり方の検討が必要である③「褒めて伸ばす」は科学的にも立証されだが、教育方針等への検討を。

答 ①分析結果をもとに指導力の向上を図る②法改正やニーズの動向を見ながら検討③教育振興基本計画の基本的考え方、校長会等で周知していく。

市職員の働く環境と時代への適合について

問 ①経験豊富で優秀な再任用職員の活用を②嘱託職員の役割は③行財政改革は職員の削減ありきではなく、市民サービスの向上にある。そのためにも定員適正化計画の見直しを。

答 ①職付き任用等も検討課題。②定型的かつ定例的業務及び有資格者等による専門的な業務を行う。③本年度内の策定を予定している。

辻村ともこ

エネルギーコンシェルジュ導入について

①地球温暖化及び低炭素社会実現に向けた取り組み方法は②コミュニケーション導入検討は③公共施設のエネルギー連携は④新施策はあるか。
答 ①家庭、事業所の省エネルギーや緑地整備、建物緑化等推進、太陽光発電等の普及促進②今後検討③実情に合った導入方法検討④エネルギー管理システム等民間活力協働推進。

通学路の安全対策について

問 ①過去5年間当市立小・中学校の登・下校中の事故件数は。②緊急合同点検危険箇所数は。③二トリ付近交通量調査方法は。④庁舎内連携は。⑤自転車対策は。

答 ①19件。②29カ所。③9カ所。④平日及び休日の9時から22時まで。④関係4課と危険箇所協議及び対策。⑤路側帯内のカラー舗装化を実施。

領土・領海教育について

問 ①学習指導要領の主な変更点は②当市教科書記述が少ないようだ。何時間か④教師の指導は⑤領土教育にデジタル教材活用は有効か⑥市長所感。

答 ①領土が我が国の位置と領土に変更②写真や言葉で説明③約1時間④校長の許可を受け授業を行う⑤大変有効である⑥領土・領海をしっかり学習していただくことを望む。